

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【公開番号】特開2009-18024(P2009-18024A)

【公開日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2007-182934(P2007-182934)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 5 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月7日(2010.7.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体に放射線を照射する放射線源と、前記放射線源に対向配置され前記被検体を透過した放射線を検出する放射線検出器と、前記放射線源と前記放射線検出器を搭載し前記被検体の周囲を回転するスキャナと、前記放射線検出器で検出した透過放射線量に基づき被検体の断層像を再構成する画像再構成装置と、前記画像再構成装置で再構成した断層像を表示する画像表示装置と、前記被検体を撮影する撮影条件の設定に使用される操作卓と、前記放射線の焦点を前記スキャナの回転方向又は回転軸方向にシフトさせる放射線焦点シフト装置と、を備えた放射線CT装置において、

前記操作卓を介して設定された撮影条件に基づき前記放射線焦点のシフト量を制御する放射線焦点シフト量制御装置をさらに備えていることを特徴とする放射線CT装置。

【請求項2】

請求項1に記載の放射線CT装置において、

前記放射線焦点シフト量制御装置は、前記撮影条件がチャネル方向FFSを含むか否かに基づき前記シフト量を制御することを特徴とする放射線CT装置。

【請求項3】

請求項2に記載の放射線CT装置において、

前記放射線焦点シフト量制御装置は、前記撮影条件がチャネル方向FFSを含んでいる場合はチャネルオフセット量を0.125チャネルとし、それ以外の場合は0.25チャネルとして前記シフト量を制御することを特徴とする放射線CT装置。